

第 22 回九州地区小学生ディベート大会要項

全国教室ディベート連盟九州支部

支部長 佐長 健司（佐賀大学大学院学校教育学研究科教授）

九州地区の小学生を対象としたディベート大会を下記のとおり開催します。ディベートとは、聴き取りやすく理解しやすいスピーチを行い、社会の問題を解決するためにどうすべきかを討論するゲームのことです。つきましては、小学生の皆さん、コミュニケーション教育に関心のある方々に多数ご参加いただけますよう、ご案内申し上げます。

記

1 大会組織

主催：全国教室ディベート連盟九州支部 日本パブリック・ディベート協会

後援：佐賀県教育委員会 佐賀市教育委員会（申請中）

協賛：JA グループ佐賀 全教研

2 目的

ディベートについての学習成果を発表する機会となる大会を開催し、成績が優秀な個人、及びチームを表彰します。また、コミュニケーション教育に関心のある方々の情報交換の場とします。

3 日時 平成28年12月4日（日） 10:00～16:30

4 会場 佐賀県JA会館（佐賀市栄町2番1号）

※佐賀駅より徒歩3分 自家用車で来られる方は、近くの駐車場をご利用ください。

5 対象 小学校中学年（3，4年生）及び高学年（5，6年生）の児童（引率者を必要とする。）

6 日程

10:00	10:20	12:00	12:50	15:20	15:30	16:10	16:30
受付	開 会	○モデルディベート ○準備	休 憩	○ディベート（予選） 中学年の部 高学年の部	成績 発表	○ディベート 決勝試合	表彰 閉会

7 参加について

(1) **事前の準備は不要です。当日、大会スタッフの支援によって準備を行いますので、初めての児童でも参加が可能です。筆記用具、昼食だけをご持参ください。**

(2) 討論のテーマとなる問いは当日発表いたします。内容は、食生活、あるいは農業に関するものとなります。

(3) 参加及び参観ともに無料です。

(4) 申し込み・問い合わせ先

別紙「参加申込書」に必要事項を記入し、11月25日（金）までにご送付ください。メールで結構です。

佐賀市立高木瀬小学校 田本 正一（たもと しょういち）

TEL 0952-31-3398

Mail sho.tamoto@hb.tp1.jp

九州地区小学生パブリック・ディベート・ルール

1 目的

パブリック・ディベートとは、聴き取りやすく、理解しやすいスピーチを行い、社会の問題を解決することについて、討論するゲームのことで、このようなディベートを行うことによって、社会の一員として、よりよい社会について考察を深めることを目的とします。

2 問い

本大会は、食生活あるいは農業に関することで、「みんなで考えなければならない問題」を問いとして示します。その問いに答えるように意見を述べ、討論します。問いは、大会当日に発表します。

3 チーム

3人から6人でチームをつくり、意見発表、意見交換、意見の再提案のパートに分かれ試合を行います。1～2人での参加の場合は当日他チームとの合同になる場合があります。

人数が多い場合は、意見交換、修正意見の発表を2人とします。また、参加人数が多数の場合は、チーム数調整にご協力願う場合もあります。

4 フォーマット

ディベートの流れは次のとおりです。なお、内容を充実させるために、審判による解説が行われます。

- | | | |
|---|---------------------|-----|
| ① | 先攻チームによる意見発表 | 3分間 |
| ② | 後攻チームによる意見発表 | 3分間 |
| | 審判による解説 | 2分間 |
| | 作戦タイム | 3分間 |
| ③ | 先攻チームの意見発表についての意見交換 | 3分間 |
| ④ | 後攻チームの意見発表についての意見交換 | 3分間 |
| | 審判による解説 | 2分間 |
| | 作戦タイム | 3分間 |
| ⑤ | 後攻チームによる修正意見の発表 | 2分間 |
| ⑥ | 先攻チームによる修正意見の発表 | 2分間 |
| | 合計 | 26分 |

5 進行

司会者の進行によって、発言を行い、決められた時間内に述べます。

6 意見発表

(1) 先行チーム、後攻チームのいずれも、示された問いに答えるように、食生活や農業のあり方について、大切だと思うこと、及び改善すべきことをまとめて、意見として発表します。

(2) 次の順序で述べます。

- ① 意見発表のラベル
 - ② 意見発表が正しいことだと示す根拠
 - ③ 意見発表が正しいことだという結論
- ※「ラベル」とは、意見発表の内容をまとめた短い言葉（見出し）のことです。
※「根拠」とは、誰もが経験するような事実や筋道を立てた説明のことです。

7 意見交換について

(1) 先行チームの意見発表についての意見交換では、後攻チームが先行チームに質問をし、その応答に対応して、先行チームの意見改善のための意見を述べます。後攻チームの意見発表についての意見交換では、先行チームが後攻チームに質問をし、その応答に対して、後攻チームの意見改善のための意見を述べます。

(2) 次の順序で述べます。

- ① 相手の意見発表についての、いくつかの質問
- ② 相手の意見発表には、改善が必要であること
- ③ 相手の意見発表には、改善が必要となる根拠
- ④ 相手の意見発表には修正する必要がある、という結論

8 修正意見の発表について

(1) 先攻チームは、後攻チームとの意見交換を踏まえて修正した意見を発表します。後攻チームは、先攻チームとの意見交換を踏まえて修正した意見を発表します。

(2) 次の順序で述べます。

- ① 相手との意見交換において重要だと考えた内容
- ② 相手との意見交換において修正すべきと考えた内容
- ③ 相手との意見交換によって修正した意見の発表
- ④ 相手チーム及び審判、聴衆に対するお礼

9 コミュニケーションの責任

(1) 発言の速さ、声の大きさや発音に十分注意して、わかりやすく述べます。

(2) ナンバリング、ラベリングをしながら意見発表や質問を述べなければなりません。

「ナンバリング」とは、述べる内容の数と順序を示すことです。「〇点述べます。第1に～。第2に～。」という具合に述べることです。「ラベリング」とは、述べる内容に見出しをつけることです。

(3) 難しい言葉は、わかりやすい言葉に置き換えるようにします。あるいは、ていねいに説明をして使うようにします。

10 試合の評価と順位決定方法について

(1) 評価の判定は、複数の審判が中立の立場から行います。

(2) 評価の判定は、試合評価とチーム評価の2つによって行われます。

試合評価とは、両チームが協力してどの程度議論を深めたかどうかを評価します。チーム評価とは、討論においてどちらのチームが優位であったかを評価します。

(3) 試合において、一方のチームの意見が述べられなかったり内容が乏しかったりするなどの理由で、試合評価（試合全体の評価とその点数）が低くなるような場合があるかもしれません。そのような場合は、相手の主張を引き出そうとしている等の努力が認められたときは、その努力を考慮し、努力したチームの試合評価の点数に加点します。

(4) 本大会の順位は、試合評価とチーム評価の2つの評価点数を合計した成績得点によって順位を決定します。予選順位は、成績得点によって決定します。成績得点と同点の場合は試合評価の合計点数によって決定します。さらに同点の場合は、勝敗数で決定します。さらに、それも同じ場合は、抽選で決定します。予選順位の上位2チームが決勝に進みます。また、予選試合の中で最も優れた試合をベストゲームとします。

11 その他

(1) ディベートでは、示された問いとは関係のない意見発表はできません。

(2) 試合中は、作戦タイムにおいてチーム内で相談することができます。ただし、発言中の選手に対して、他の選手が口頭でアドバイスをすることはできません。

(3) 試合中、選手は選手以外からのアドバイスを受けることはできません。

第 22 回九州地区小学生パブリック・ディベート大会 参加申込書

(中学年の部 ・ 高学年の部 いずれかに○を付けてください。)

1 学 校

名称（正式な名称。〇〇市立〇〇小学校、私立〇〇小学校）		小学校
所在地（〒 — ）		
電話番号 — —	Fax — —	
過去の参加 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし		

2 選 手

1	氏名（フリガナ）	学年	性別 男・女
2	氏名（フリガナ）	学年	性別 男・女
3	氏名（フリガナ）	学年	性別 男・女
4	氏名（フリガナ）	学年	性別 男・女
5	氏名（フリガナ）	学年	性別 男・女
6	氏名（フリガナ）	学年	性別 男・女

3 引率者

氏名（フリガナ）		担当教科
緊急連絡先電話番号 — —	電子メール @	
引率者が教員ではない <input type="checkbox"/> →	チームとの関係 保護者 ・ OB/OG ・ その他（ ）	

・引率者は参加児童の引率，安全について責任を持つことができる方とします。

※必要事項を記入し、sho.tamoto@hb.tp1.jp にご送付下さい。